

元気に働く 母親への思い

清水 亜衣子様



保険の外交員を退職まで勤めあげ、趣味のコーラスも本格的にやり始め、また高齢者の方のお庭の手入れのお手伝いをしたりと常に元気に活発に動いている母でした。2年前に物忘れが始まり、様子がおかしいということから一人暮らしの母はガスの消し忘れや鍵のかけ忘れも多くなり、生活にも支障が出てきました。同時に徘徊も始まり受診をした際には認知症と診断されました。このまま進んでいくのかと思っていた矢先にケアマネからデイサービスの紹介があり週2回の利用を開始しました。

当初馴染めるのか心配していましたが、ある時から自宅の片付け掃除を一人で行い、模様替えまでするようになったので嬉しくてそのことを連絡帳に書いたところ、デイサービスではご利用様がお仕事やお手伝いをする時間というのがあり、母が率先して食事前やおやつ前のテーブルを拭いたり、後片付けをしたりして、他のご利用様と一緒に洗濯畳のお仕事を嬉しそうにして、お互いに「ありがとう」「助かりました」「どういたしまして」など満面の笑顔で声をかけあっている話を伺いました。

先日認知症と診断されて丸2年が経ちましたが、今では1日の休みもなく、事前のお迎え電話でも「元気です。楽しみにしています」と答えている母の姿を見て、昔、幼い私が母に抱いていた「明るく元気で働き者の自慢の母」が戻ってきたことが娘として大変うれしく、デイサービスの皆さんに感謝を伝えたいです。

